

教科名	社 会 (地理的分野) (歴史的分野)	週時間数	3時間	学年	1年
使用教科書 副教材等	・教科書:中学生の地理(帝国書院)、地図帳(帝国書院)、新しい社会歴史(東京書籍) ・ワーク:社会の自主学習・地理Ⅰ(新学社) 社会の自主学習・歴史Ⅰ(新学社) ・地理資料集 2025(新学社) 歴史資料集(新学社)				

教科のねらい	社会科では、多面的・多角的な見方や考え方ができる学習の場として、生徒の「主体的に学ぶ姿勢」「思考力・判断力・表現力」を育むことを目指して学習をしていきます。また、基礎的な知識を身につけるとともに、他国の文化や伝統を尊重できる国際人としての自覚を身につけることも目指していきます。		
授業の進め方	授業は教科書を中心に進め、プリントと PC を併用していきます。プリントには基本的な用語や自分の意見を書きましょう。PCは資料を見たり、調べ学習をするときに使います。グループでの交流を通して、自分の意見・考えを深めていきましょう。		
定期考査	出題方針	授業やワークで学習したことを中心に問題を出題します。教科書の内容を覚えるだけではなく、資料を読み取る力・思考力・表現力も必要となります。	
	範囲 (予定)	Ⅰ学期中間	世界の姿、日本の姿
		Ⅰ学期期末	人々の生活と環境、世界の諸地域①
		2学期中間	世界の諸地域②、歴史をとらえる見方・考え方
		2学期期末	世界の古代文明と宗教のおこり、日本列島の誕生と大陸との交流、古代国家の歩みと東アジア世界
		学年末	武士政権の成立、ユーラシアの動きと武士の政治の展開
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の様子、レポートの記述、振り返りプリント、課題への取り組み、自主学習の成果、提出締切りの順守	
	思考力・判断力・表現力	定期テスト、レポートの記述、授業中の様子	
	知識・技能	定期テスト、単元テスト	

学 習 方 法 (先 生 か ら の ア ド バ イ ス 等)	・授業中の課題や社会の事柄に対して、自分の意見や考えを持ち、表現していこう。 ・仲間の意見、考えをしっかりと聴きましょう。わからないこと、疑問は聴きましょう。 ・知識の定着に向けては、ワークを繰り返すことや自主学習を進めましょう。
---	---

学期	月	単元	学習内容	学習のポイント
1	4	○世界の姿	・世界の姿	・地球儀や世界地図を活用して、大陸と海洋と形状や分布を理解する。 ・経度と緯度による位置の表し方を習得する。 ・世界の中での日本の位置を理解し、都道府県名、都道府県庁所在地名をマスターしよう。
	5	○日本の姿	・日本の姿	
		○人々の生活と環境	・世界のさまざまな気候と人々の生活	・地域で異なる自然環境の違いを知る。 ・人々の生活と環境のかかわりを理解し、異なる文化を尊重する。 ・世界的に広がる宗教の分布を理解する
	6 7	○世界の諸地域	・アジア州 ・ヨーロッパ州 ・アフリカ州 ・北アメリカ州 ・南アメリカ州	・各州の地形や気候など地理的特色を理解する。 ・各州に関する統計資料などを読み取ることで、産業の特色や変化を捉える。 ・各州に関する基本的な知識を習得し、日本との関わりや今後の課題等を考える
2	9		・オセアニア州	
		○歴史をとらえる見方・考え方	・時代や年代の表し方	・歴史学習の動機づけ
	10 11	○世界の古代文明と宗教のおこり	・人類の出現と進化 ・古代文明の起こりと発展 ・三大宗教	・世界の古代文明や宗教が生まれたことを理解する。
	12	○日本列島の誕生と大陸との交流	・日本の旧石器時代～弥生時代	・日本における狩猟や採集の生活が農耕の広まりとともに変化していったことを理解する。 ・国家が形成されていく過程を東アジアとの関連を通して理解する。
3		○古代国家の歩みと東アジア世界	・飛鳥時代～平安時代	・大陸の文化や制度を取り入れながら、律令国家の成立した過程を理解する。 ・国際色豊かな文化が栄え、後に国風文化に進んだことを、事例を通して理解する。
	1	○武士政権の成立	・武士の成長と院政	・武士の登場から成長していく過程を捉えることで、社会が大きく変化していったことを理解する。
	2 3	○ユーラシアの動きと武士の政治の展開	・鎌倉時代～室町時代	・鎌倉幕府の成立から、幕府の支配が全国に広まった過程を理解する。 ・元寇などの東アジアとの関わりが日本に及ぼした影響を理解する。 ・鎌倉時代の文化と仏教にみられる新しい動きを理解する。 ・鎌倉幕府滅亡後の室町幕府の成立から戦国時代までの武家政治の変化を理解する。 ・室町時代の文化を理解する。

